岩手県意欲と能力のある林業経営体の登録申請書

記載例

岩手県知事 様

令和6 (又は2024) 年 12 月 1 日

主たる事務所の所在地 商号又は名称 盛岡市内丸10-1 株式会社○○林業 岩手一郎

代表者氏名 電話番号

000-000-0000

FAX番号 Email

○○@pref.iwate.jp

事業主認定の有無

(無)※該当する方に○を記載してください。

岩手県意欲と能力のある林業経営体の登録・公表実施要領第4に基づき、登録を申請します。

該当する事業体制に〇付ける

【事業の体制】

番号/	事業の体制		該当する項目
1	素材生産を主体に実施	直営	1~14 全て
2	条例生産を主体に美地	請負	4, 5, 6, 8, 9, 10, 12, 13, 14
3	造林・保育を主体に実施	直営	$1, 2, 4 \sim 14$
4	担你・休月で土体に夫旭	請負	4, 5, 8, 9, 10, 12, 13, 14
(5)	素材生産・造林・保育を実施	直営	1~14 全て
(6)		請負	4, 5, 6, 8, 9, 10, 12, 13, 14

※該当する項目の番号に○印を記入

該当する項目を入力する

1 雇用の状況

林業現場 作業職員 (うち常用	数		等職員数 常用)		用管理者 選任の有領		雇用に 文書交付				
5 (5人) ((1人 1人)		有		有	j			
社会・労働保険等への加入状況											
労災保険	労災保険 労災保		雇用保	:険	健康保	:険	厚生年金	保険	退職	金共	済等
5 人		5. 3	5	人	5	人	5	人		5	人

2 技術者・技能者の数

2 找削日	・技能句の数					
フォレストワーカー	トレスト フォレスト フォレ ーカー リーダー ジャ		森林施業 プランナー	森林作業道 作設 オペレーター	技術士	
3 人	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	
	技	術者・技能者		_	沙田に古	ドナ脚ナや加してもウ
林業技能士	林業技士	フォレス ター (森林 総合監理 士)	技能士		必安に心	じて欄を追加しても良
人	人	1 人	人	人	/	必要に応じて欄を追加 しても良い

3 林業機械の保有状況

-																		
	グラプ	ラツル	プロ セッサ	ハス	-ベ タ	ファ	オ - ダ	スイヤー	ング -ダ	タワヤー	フー -ダ	フェバン	ラー チャ	スラ	テツ ず			
	1	台	台	1	台	1	台		台		台		台		台	台	伯	台

4 事業	業量等							
		0000年1月1月		きれない場合は、「別紙のとおり」				
夫領	【事業期間	2023年1月1日	\sim 2023年12	として、別	紙の添付でも良い			
			素材					
		主 伐			間 伐			
	面積(ha)	材積(㎡)	生産性 (㎡/人日)	面積(ha)	材積(㎡)	生産性 (㎡/人日)		
直営	25. 00	5000	8.0	5. 00	500	3. 0		
請負	1. 00	300						
合計	26. 00	5300		5. 00	500			
		造林・保育		左記以外の素材生			造林・保育	
	植付(ha)	下刈り (ha)	その他	林業の 事業量 作業道作設	事業区域 (市町村)	請負がある 場合は、主 な経営体名 を記載	の請負がある場合は、 主な経営体 名を記載	
直営	5. 00	1.00		2000m	盛岡市、八	ハハ井米	^ `#:++	
請負	8. 00	1.00			盛岡市、八 幡平市	××林業 (有)	△造林 (株)	
合計	13. 00	2.00		2000m	li⊞ — 1.11	(H)	(//N)	

3年 又は5年 後の目標【事業期間 2026年1月1日~2026年12月31日】									
			3年後又						
		主 伐			間伐		Ī	:	
	面積(ha)	材積(㎡)	生産性 (㎡/人日)	面積(ha)	材積(㎡)	生産性 (㎡/人日)		ここでは 生産性の	
直営	28. 00	5600	8.8	5. 50	550	3. 3	ĺ		
請負	1. 00	300							
合計	29. 00	5900		5. 50	550				
		造林・保育				素材生産の		木・保育	
	植付(ha)	下刈り (ha)	その他	左記以外の 林業の 事業量	事業区域 (市町村)	請負がある 場合は、主 な経営体名 を記載	る場主な	情負があ 場合は、 は経営体 と記載	
直営	10.00	5. 00		2000m	盛岡市、八	××林業	∧ ¥		
請負	19. 00	5. 00			幡平市、雫	(有)	(杉		
合計	29. 00	10.00		2000m	石町	(11)	(1)	107	

又は5年後を選択

は、次ページの「6生産量の増加又は の向上」で選択した目標の項目と内

≪以下の項目の該当箇所にチェック

レ 点を入れ、必要事項を記入≫

5	施業集約化の取組	取り組ん 今後取り でいる 組む
•	地域の森林経営の主体となり、施業の集約化等により、高い森林経営を実践すること	生産性の レ し
	具体的な取組状況 ※必須 ・森林経営計画を作成し施業の集約化を図っている ・他事業体と連携しながら森林整備を実施	
		 6項目のうち、いずれかを選択して目標を立てること
		前ページの「3年後又は5年後の目標」は、選択した項目と合 致していること。
6	生産量の増加又は生産性の向上	ある
•	生産量において5年間で約2割増加の目標	
•	生産量において3年間で約1割増加の目標	
•	生産性において5年間で約2割向上の目標	
•	生産性において3年間で約1割向上の目標	
•	既に一定の基準(生産量に関し5,000㎡/年)以上の実績合は、現状以上の目標	がある場 レ
•	既に一定の基準(生産性に関し間伐8㎡/人日、主伐11r以上の実績がある場合は、現状以上の目標	n ³ /人日)
7	生産管理又は流通合理化等	該当なし 取り組ん 1年以内に (事業を消費に全て発注して
	作業日報の作成・分析による進捗管理	取り組ん 1年以内に (事業を請負に全て発注して でいる 取り組む いる場合に限る)
•	製材工場等需要者との直接的な取引、木材流通業者 や森林組合系統などの取りまとめ機関を通じた共同 販売・共同出荷等	
	(取引先名:)
		,
•	その他	

8	主伐後の再造林の確保	有して	1年以内に整	「一体的に実施する体制」とは、主伐と再造林の両方が実施できる体制であることをいう。た
)主伐及び主伐後の再造林の一体的な実施体制 主伐と再造林の両方を直営施業又は他者への請負に より実施する体制	いるレ	備する	だし、主伐と再造林のどちらか一方を行わない 事業体の場合は、他事業体との連携により一 体的に実施できる体制があることとする。
•	連携する他の林業経営体と一体的に実施する体制	V		
	(連携する林業経営体名 <mark>:△造林(株)</mark>)			ききれない場合は、「別紙のとおり」 別紙の添付でも良い
)適切な更新 森林所有者への働きかけにより再造林などの主伐後 の適切な更新の働きかけ	取り組/ でいる レ	ん 1年以内に取り組む	
	「取り組んでいる」を選択した場合は、具体的な取組状 【記載例】 ・主伐現場においては、必ず森林所有者に対し、主伐後 ・直営でできない時は、連携事業体に斡旋する ・再造林の実績割合は、請負を含め約50%となっている	の再造材		· <u>いる</u>
	「1年以内に取り組む」を選択した場合は、今後の具体 【記載例】 ・森林所有者に積極的な働きかけを行い、再造林率を面			<u>める。</u>
9	素材生産や造林・保育の実施体制の確保			
	素材生産又は造林・保育に関して3年以上の実績	ある	ない	
	NAME OF A PARTICIPATION OF A PAR	٠		
•	所属する現場作業職員の現場従事実績等が3年以上	V		
10	伐採・造林に関する行動規範の策定等		尊 1年以内に策	
•	経営体独自の行動規範の策定	守済レ	定・遵守予定	
•	所属する業界団体等による行動規範の策定	V		
	(策定主体:			
•	その他(

11	雇用管理の改善及び労働安全対策	取り組ん でいる	1年以内に 取り組む	該当なし (事業を請負に全て 発注している場合に 限る)
	現場作業職員の常用化などの雇用の安定化	レ		
•	現場作業職員への月給制度や週休2日制の導入・検討	V		
•	計画的な研修実施などの教育訓練の充実	V		
•	現場作業職員の社会・労働保険、退職金共済等への加入	V		
•	リスクアセスメントの実施	V		
•	防護具等の着用の徹底 (チェーンソー用防護ズボン・ブーツ、ヘルメット等)	V		
	作業現場の安全巡回	レ		
٠	その他			
12	コンプライアンスの確保			
	職員に対してコンプライアンスの教育を行っている		はい	い いいえ
•	業務に関連して法令に違反していない (軽微な場合を除く)		V	
•	国、県、市町村から、入札参加資格の指名停止を受けていない		V	
13	常勤役員の設置 ※法人が対象			
•	常勤の役員を設置している		はい	いいえ
14	その他の情報			